

Tibetan Buddhism Singing Bowl

『シンギング ボウル』

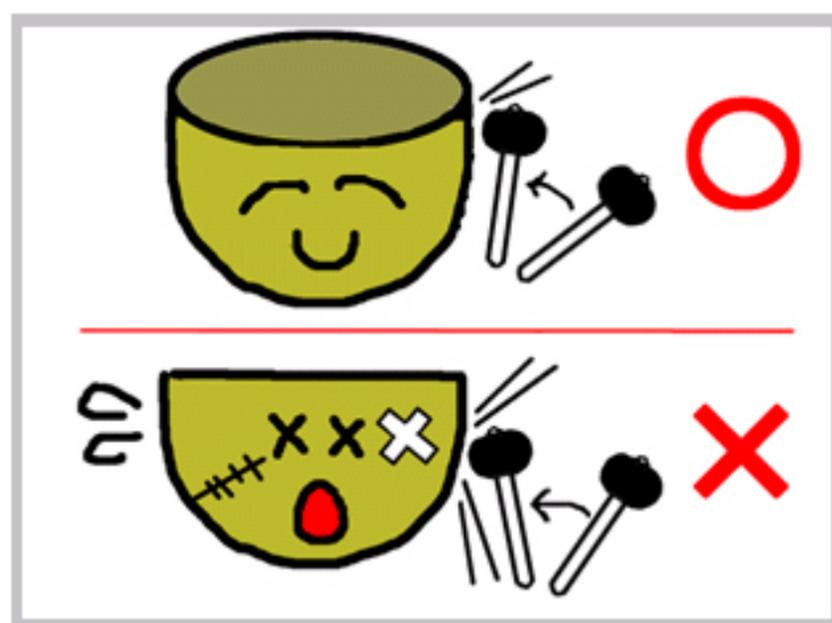
ネパール直輸入! 今、注目の癒し楽器☆

お手軽 演奏♪ 歌うボウル?

ボウルのフチ(外回り)を、棒で何周も擦ると、倍音が響いてきて、脳にリラックス効果♪

大きなものは体に当てがい、バチで叩いて振動でマッサージ。(※自己責任!)

→リンが大きい時は、
(棒を)普通に握む。



※ボウルをガツシリ握んだり、載(の)せた手の平がペツタリ密着していると音が出ません。

※横っ腹を叩くとダメージ! フチの脇(わき)を叩きましょう。

チベット仏教のリン。400~430(?)ヘルツで#シャープやbフラットが強すぎない(?)と良いそう。欧米では医療用として使われ、保険がきく国もあるとか。ドイツでは保育園に置いてるそう。

ポイント① リン棒を しっかり持つ。② 手の平を傾けてボウルを棒に押しつける。③ 鳴り始めても焦って速度を上げない。④ ボウルを押し込まない。(バイブレーションと音が打ち消されます)

製造法は2つ。手打ち(Beaten/Hammered):丸い金属板を熱して柔らかくし、ハンマーで叩いて成形。冷めて硬くなってきたら、再度 熱して また叩く。鑄型(Cast):型に熱して溶かした金属を流しこむ。

手打ちは 厚み・サイズ次第では 数枚を重ねて製造。厚い小型や 薄い大型は 製造が困難。一枚打ちの特大は、水を溜めて中に立ち、バチで鳴らしてもらおうとマッサージ効果。(※妊婦や人工関節の方は×)

金属の使用分量・配合順で倍音の長さも変化。金・銀・水銀(*)・銅・錫(スズ)・鉛(*)・鉄 使用の7メタルが有名。(金銀無しは5メタル) 金は太陽、銀は月...など、金属を太陽系の惑星に見立ててあるのだとか。

7メタルの金銀 使用量はホンの僅か。でもやはり音色が違います。錫(スズ)も意外と高価。新品の金属を使った7メタルや、銀 使用量を2%に増やした超高級品は、見た目もキレイで音も良し。

中古の金属を溶かして材料にすると音質が不安定ですが、運が良ければお買い得♪(闇ナベ?)

余談 其の音:亡命中のダライ・ラマさんの村の一流職人作は、1個で数百万円だとか。(お布施?)

余談 其の式:満月の日には、重力などが影響して良いボウルが出来るそう。まとめて作ったりも...

(*):欧米からの強い要望で、7メタルには水銀と鉛も使ってるそう。但し、EU基準値 以下という話。